

案件1 令和6年度予算編成方針について(財政課)

<概要>	
<ul style="list-style-type: none"> ・物価上昇を考慮して、経常経費についてはマイナスシーリングを行わないが、臨時・投資的経費については、前年度から一般財源ベースで約3億円縮減を目指す。 ・一般財源全体で前年度比約13億円増の約286.9億円とする。 ・予算要求の締切は11月8日(水)とする。 	
<会議での結論>	了承

【主な意見】

- ・現在、第2期基本計画アクションプラン策定ヒアリングを実施しているところであるが、ヒアリングで提出されている事業で、了承されたものについても、予算査定で内容変更や縮減等を求められることがあるので、留意いただきたい。
- ・現在実施中のアクションプラン策定ヒアリングにおいて、特に情報発信やデジタル、協働・公民連携、行政経営の視点が盛り込まれているのかということ意識して、説明できるようにしてヒアリングに臨んでいただきたい。

案件2 行政改革大綱の見直しについて(行政経営課)

<概要>	
<ul style="list-style-type: none"> ・生駒市行政改革推進委員会から、「生駒市行政改革大綱 後期行動計画」の令和4年度の実行状況評価報告書が答申された。7割以上の項目で高い成果又は予定通りの成果が得られたとの評価を得ている。 ・本報告書では、大綱策定時の社会環境と、コロナ禍やデジタル化の飛躍的な進展などの急激な社会環境の変化による現状の社会環境に乖離が生じており、大綱や行動計画のあり方について、見直す時期が来ていると指摘されている。 ・このような指摘を踏まえ、総合計画の総論に新たな行政改革大綱を位置づけ、一体的に管理、評価していきたい。 	
<会議での結論>	了承

案件3 (仮称) 部下による上司診断制度について(人事課)

<概要>	
<ul style="list-style-type: none"> ・管理職員が自らの強みや弱みに気づき、すべての職員が働きやすい職場環境をつくっていくため、(仮称) 部下による上司診断制度をまずは課長級を対象に、試行的に実施したい。 	
<会議での結論>	今回の意見等を踏まえ、再調整

【主な意見】

- ・対象が課長級となっているが、まずは部・次長から始めるべきではないか。
 - ・基準が主観的になるおそれがあることから、すべての回答に対して理由等を求めるべきではないか。
- 診断者の負担もあることから、すべての項目に対する理由(自由記述)を割愛している。

また、具体的な記述によって、診断者の匿名性が失われるおそれがあることから、理由を割愛している。

- ・ 診断結果のフィードバックを行った結果に対するフォローをどうしていくのかを考えておく必要があるのではないか。
- ・ 心理的安全性を担保するためにも、アンケート方式による実施がいいのではないか。
- ・ 改善を求めたいということだけであれば、「○」と空欄だけで十分だと思う。
- ・ 部下の意見を上司に伝える仕組みを構築するという趣旨は理解できるので、方法等について、次回の行政経営会議までに再度整理されたい。

案件4 その他

<概要>

- ・ 不祥事や事故など危機管理時の報道対応について再度確認いただき、危機発生時は広報広聴課にも相談し、対応いただきたい。また、市公式発表以前に新聞等に掲載された場合は、理事者等に報告願いたい。
- ・ 法令遵守委員会から報告書が提出された。同制度に基づく要望等記録の件数は年度で増減があるが、学校に対する要望等が記録されていないといった指摘もある。法令遵守推進制度の意義を再確認いただき、適切に要望等の記録を行っていただきたい。